

広報

4
15号



平成20年 No.51

[ホームページアドレス]
<http://www.city.kuji.iwate.jp/>



みんなでのろねっと♪ 市民バス「のろねっとKUJI」運行を開始

市民バス「のろねっとKUJI」の出発式が4月1日、JR久慈駅前広場で行われました。山内隆文市長が「運行維持のためには多くの人の利用が不可欠。利用拡大のため、利便性を向上させたい。バス会社には、安全で快適な運行に努めてほしい」とあいさつ。運転手への花束贈呈とテープカットが行われました。参加者の中には、出発の記念にと出発するバスを写真に収める姿も見られました。

洋野町大野からバスで通学する古川幸さん(久慈高3年)は「運行することになりうれしい。バスが無くなると困る運行が続くようにみんなで乗るようにしてほしい」と呼び掛けていました。

愛称は「のろねっとKUJI」

市民バスの愛称募集には171点の応募がありました。東園弘光さん(宮崎県宮崎市)の「のろねっとKUJI」が金賞に選ばれ、愛称に決定。作品には、バスに乗るね!という気持ちが、網目(ネット)のように広がる一との願いが込められています。

金賞以外の入賞作品は以下のとおりです。

(敬称略)

- ◇銀賞「べっぴんバス」長畑國子(久慈市)、「あまかせ(海女風)」膳棚博幸(久慈市)、「てんとむしGo」田面淳子(久慈市)◇銅賞「Kバス」久保司(久慈市)、「久ちゃん号」桜庭昇(野田村)、「くじっこバス」上沢大樹(久慈市)、「べっぴん号」高橋茂義(久慈市)、「藤田さおり」(埼玉県三芳町)、「鈴木敢治」(久慈市)、「上沢順子」(久慈市)、「下坪綾子」(久慈市)、「やわら号」藤田剛(埼玉県三芳町)



調印を終え固い握手を交わす内山社長(右)、和嶋局長(中)、山内市長

縫製工場が立地決定

アウイツシユ 3年後16人雇用目指す

有限会社アウイツシユ(盛岡市、資本金300万円、内山裕信社長)が新中の橋に縫製事業部久慈工場を立地することが決定。同社と市による立地調印式が3月31日、和嶋憲

男久慈地方振興局長立ち会いの下、市役所で行われました。同社は平成11年設立。ショッピングモール運営など企業コンサルタントを主に手掛ける同社ではドッグウェア(犬用の服飾)市場の将来性に注目。本市が縫製業の人材が豊富であること、内山社長が本市出身であること―などから立地を決定しました。犬の体型に合わせた立体縫製の特許を取得した同社では、デザインを行った後、布の仕入れや裁断などを外注、久慈工場では縫製のみを行い、通信販売で販売するという完全分業体制でコストを削減します。内山社長は「分業により危険も少なく、利益も得やすい。久慈から、全国で勝負できる事業を展開したい」と決意をにじませます。

操業開始は4月から。当初は市内から4人を採用。3年後には16人の採用を目標にしています。